

# 江戸時代の竹原へ タイムスリップ

約200年前の風景画をご覧ください。道には荷物をのせた牛馬が見え、  
港には船が停泊し、多くの人でにぎわっています。1800年頃の  
竹原の町並みです。手前に本川が流れ、奥には照蓮寺、西方寺、  
長生寺をいだいた寺山が描かれています。  
現代の町並みと比べてみましょう。

町並みおじさんと  
一緒に探検しよう

町並みおじさんが  
案内するよ！

町並み保存地区で  
佐倉酒店を経営する  
佐倉昭三さん



## 今も残る道

北のはずれ。道の形は現代に受け継がれて  
います。荷物を載せた牛や馬をひく人が見え  
ますが、北部の集落へ向かうのでしょうか。



## 港のにぎわい

現在の住吉橋付近。港に数隻の船が泊まっ  
ています。降ろされた荷物に人が集まりにぎ  
やかな雰囲気。この頃の竹原の塩は、船で  
日本各地に運ばれていました。



## 田ノ浦川の岸

町の南端。帆を揚げて本川を登る船が見え  
ます。堀で囲まれた場所は代官所で、明治時代  
には警察署、現在では「道の駅たけはら」が  
建っています。